マルコシからお届けする初夏の元気ニュース

- 入社式は会社を活気づける
- 掃除は地域を元気にする
- どんなオレンジフェスタになるのかな
- プラチナ講座にご参加を

入社式は会社を活気づける

昨年は新入社員がゼロで入社式はなく、4月1日は変わりない一日でした。今年は幸いにも2名の新人が入社し元気いっぱいのスタートになりました。現在の求人倍率は1.8倍、つまり一人の学生にたくさんの企業が群がることになります。就職天国と伝えられますが、それは数字の上のことであって個人にとっては天国なんて遠い存在です。

就職は〝縁と縁〟天から定められたものです。社員の人格と能力、会社の人材育成システムがマッチしていれば、学生にも企業にも幸運がもたらされます。そのことで企業が繁栄しお客様のお役に立てるのです。

山本　秀

今年の新人を紹介します。男子社員の山本秀くんは安芸高校から比治山大学へ進学し、言語文化学科に学びました。建築とは特に関係はありませんが、本人の話によると「地元を大切にしている会社に就職したいと願い、マルコシの〝ご縁に感謝〟という大きな文字に心を動かされ就職を希望した」言うことです。難点は体重。百キロを超えているのでウォーキングなどでスリムになりたいとのことでした。深川の出身です。

藤田　梨央

女子社員の藤田梨央さんは呉市の出身。清水ケ丘高校から広島工業大学専門学校へ入学、建築学科に学びました。顔を合わせてあいさつしたら先に笑顔がこぼれるほど明るい女性です。話をするときも何処かしら微笑みを感じさせてくれます。

就職が決まると会社の近くのアパートへ引っ越しました。自炊生活は楽ではありませんが、規則正しい暮らしをし、能力を磨くには最適です。頑張ってほしいと強く願っています。

4月からのマルコシは若いエネルギーに包まれて輝くでしょう。

マルコシの社会貢献　地域でも　学校でも　掃除が輝く

掃除のお話　その一

マルコシの掃除は社会貢献の矩を越えて、人格形成メインに変化しています。ゴミ拾いをはじめたのは平成二年ですから二十七年も続いていることになります。続いて社屋周辺の清掃、ガレージなどの草取りが加わりました。先達者の相談役が心筋梗塞や肝臓癌で入院したにもかかわらず、ベテランの江原文男社員が日曜や祭日などの休日、午前六時に出勤し社屋周辺を清掃しています。おかげさまで三百六十五日無休の清掃が四年間続いています。

掃除の場所は益々広がり、地域内七つの小学校の通学路清掃は毎週水曜日、八つの公園のトイレ磨きと総合清掃は毎週土曜日、盆も正月も該当日であれば頑張っています。もちろん雪や台風の日も厭いません。

掃除のお話　その二

地域の学校にお薦めして卒業する生徒や児童に「卒業記念トイレ磨き」と称してお世話になったトイレを磨くことをお薦めしています。こちらにもキャパの能力に限界がありますから多くの学校は出来ません。すでに今年は終えましたが、地元の落合小学校が十七年連続、日浦中学校が十五年、落合東小学校が十年と歴史を積み上げています。

トイレは何でも物語ってくれます。一歩トイレに入ると日々の子供たちや先生の取り組みがはっきり読めます。一緒にトイレ磨きをすると、子供たちの成長プロセスが読めるのです。学校の採点はトイレが教えてくれます。毎年の成長が目に見えるようです。

通学路清掃もいろんなことを教えてくれますが、学校によって大きな隔たりがあります。七校の清掃をしていますが、校長先生が校門で迎えられる学校が四校、姿が見えないのが三校です。中には朝早くから竹ぼうきで掃除しながら迎えられる先生もあります。ある校長先生には「正門で子供たちを迎えてやってください」と何度もお願いしたのですが、学校の方針があるときいてもらえませんでした。新しい校長先生が赴任され通学路清掃をはじめられて二年、すっかり子供らが変わりました。

主なものだけあげても①登校時間が早くなる。②あいさつが出来る。③歩き方が早くなる。④立ち止まり踵をそろえてあいさつする。⑤掃除を手伝う子供が増える。授業は通学路から始まっています。

もう一つの学校は目に見えてテストの成績が向上し、広島市の平均より上になりました。運動能力もアップしました。校長先生の言動一つで学校は大きく変わります。正門に誰も出迎えない学校が良くなるはずはありません。

どんな〝オレンジフェスタ〟になるのかな

今年のフェスタは五月二十七日の土曜日です。

フェスタの企画は具体的には不明ですが、社長の考えは熟年女性に人気のプチDIYが中心になるようです。具体的に何をどうするかは、これから社員が企画会議でまとめると　欄に書いておりました。

私たち商売する立場で申しますと、かっこよく売り上げの大きいリフォームを歓迎しますが、現実は少し違うようです。ちょっとした変化で楽しくなる、わくわくする、そんなことが希望のようです。トップ3は①可愛いフックを壁に付ける。②お洒落な蛇口やシャワーヘッドの交換、③長持ちして明るいLEDの照明器具。

ところが面白いものです。例えば蛇口が引き立たせるためにシステムキッチンの取り替えや内装までリフォームをするというところに発展するのです。小さな着眼は大きくなることもあるのです。

みなさまをお迎えするためこれからお馴染みの花壇を整備します。いまは芽だしチューリップが赤、白、黄色と童謡の歌詞そのままに可愛く咲いています。昨年から楽しませてくれたパンジーは終わりです。オレンジフェスタの頃はマリーゴールドが咲きますが、中央には何を植えたらいいか迷っています。隣の巻き寿司屋さんの前を含めると五ヶ所、工夫をこらしてお客様の目を楽しませたいと思っています。いまからご来場を予定しておいてください。

プラチナ講座にご参加を

相変わらず熟年者対象のプラチナ講座は元気いっぱいです。最近は超高齢者の方も自力で三階まで来られます。その代わり若い還暦前後の人が少なくさみしい思いをしています。特に「俳句歳時記」は気合いが入っています。「人生講座」は「日本の世界遺産」を学んでいますが、秋からは雑誌「ジャパニスト」の中から、本物の日本をお互いがリーダーになって学ぶ予定です。「生涯学習」は第一水曜が「日本映画の原点」第二水曜は入川講師の「日本の言葉」、第三水曜は小山講師の「古代への道」、第四水曜は半田講師の「新・広島学」です。頭を働かせると認知症になるのが遅くなったり、免れることもあるそうです。

（文責・木原　伸雄）

歩いても　歩いてもなお　春遠し

月一回の楽しい句会

マルコシには色々な講座がありますが、俳句歳時記は熟年女性の青春を甦らせています。月に一度の待遠しい句会ですが、メンバーの皆さんと俳句談義をする楽しさと五句を事前に提出する苦吟がないまぜになって中身の濃い時間になっています。

もともとは面白半分で俳句をやってみようかと気軽に始めたのですが、先生を迎えて本式に勉強しようということになり本気になってしまったのです。メンバーは十二人ですが、男性は二人きりです。まるで女性天国。

①俳句歳時記・春

「老いてなお　ときめきありて　こぼれ萩」など色っぽい句も生まれます。

講師は周南市から

俳句の先生は石川芳己さん。元中学校の校長先生ですが、もともと社会科の非常勤講師を務めながら俳句講座を実施し、小学校でも特別講座を実施している。俳句の学習にとどまらず、総合的な学力の育成と豊かな人間性の陶冶に役立っていると自負しておられます。

中学校の社会科の非常勤講師を務めながら俳句講座を実施し、小学校でも特別講座を実施している。俳句の学習にとどまらず、総合的な学力の育成と豊かな人間性の陶冶に役立っていると自負しておられます。

朝からにぎやか

俳句講座は第四土曜日の午前十時からですが、三十分も前から勢揃いし選句に余念がありません。約五十句の中から五句を選句するのですが、適当とはいかず選ぶ苦しみも味わいます。それがよい勉強にもなります。先生は投句されたすべての句を添削し、誉めたり励ましたりされます。

誉められたら有頂天になり、苦言が付してあれば励みになります。そのおかげでずいぶん上達が早いように思います。選句の票と先生の評価は異なることが多いものですが、ともかく選ばれれば満足します。来月こそはと心を奮い起こします。

春の「天」の句は〝歩いても　歩いてもなお　春遠し〟「地」は〝今年から京の田舎で　雛祭り〟「人」は〝古備前の　椀の一服〟利休の忌

19期『人生講座』のご案内

人生講座・講師
木原伸雄さん（80）

◆日本の世界遺産
午前のクラス　AM10時～11時40分
午後のクラス　PM1時20分～3時

第19期
⑥4月25日（火）古都京都の文化財2
⑦5月9日（火）厳島神社・原爆ドーム
⑧5月23日（火）古都奈良の文化財
⑨6月13日（火）日光の社寺
⑩6月27日（火）琉球王国の関連遺産群
⑪7月11日（火）小笠原諸島

◆プロジェクトx超戦者たち
毎回　AM10時～11時半
⑧5月2日（火）時速250キロ挑戦の日
⑨6月6日（火）トランジスタ世界へ飛ぶ
⑩7月4日（火）あさま山荘衝撃の鉄球

第19期『生涯学習・プラスワンステージ』のご案内

第一講座・水先案内人
岡元美紀恵さん

第二講座・講師
入川　実さん（70）

第三講座・講師
小山　正さん（71）

第四講座・講師
半田和志さん（69）

◆映画を楽しむ
第19期
④5月31日（水）第5水曜に変更　あばれ行灯
⑤6月7日（水）銭形平次捕物控
⑥7月5日（水）任侠三人男
毎回　AM10時～11時半

◆見直そう、親しもう日本のことば
第19期
⑧5月10日（水）
⑨6月14日（水）
⑩7月12日（水）
毎回　AM10時～11時半

◆新・小山学～古代への道～
第19期
⑧5月17日（水）
⑨6月21日（水）
⑩7月19日（水）
午前　AM10時～11時半
午後　PM1時半～3時

◆新・広島学
第19期
⑧5月24日（水）
⑨6月28日（水）
⑩7月26日（水）
毎回　AM10時～11時半

お問い合わせ
お申し込み・お問い合わせは
マルコシ岡元まで
電話（082）843-9981